

教育研究業績書

2023年10月23日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：山中 晶子

研究分野	研究内容のキーワード
老年看護学	透析看護, 高齢透析患者, ACP, 倫理的問題, 看護倫理教育
学位	最終学歴
修士（看護学）	武庫川女子大学大学院看護学研究科修士課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 新人看護師と臨床看護師の卒後教育	2010年9月1日～2018年8月30日	認定看護師として病棟看護師を対象に、高齢患者の困難事例への対処についての教育を行った。具体的には病棟に赴いてカルテを見ながら、困難事例や看護問題を紐解き全人的理解を促し、対象特性を捉えた看護支援についての教育を行う。
2 作成した教科書、教材		
1. 看護倫理カンファレンスの基準・手順と事例集	2018年4月1日～2018年8月迄	患者の権利を擁護できるよう、看護の役割を具体的に示し、倫理カンファレンス開催手順・事例集を作成し、看護実践ができるよう看護教育教材を作成。 新人看護師教育カリキュラムと年間講義資料12回分（看護倫理、医療安全、看護技術、看護過程など）を作成し新人看護師の教材とした。 看護外来の開設とCKD看護の治療パスを作成。その後、地域でCKD患者の早期発見と医療連携を目的に地域医療連携パスを作成し、クリニックと基幹病院の各職種の役割、患者への指導内容を明確にした。定期的な学習会の開催で、CKD保存期看護の役割と支援内容を地域の開業医・看護師に啓蒙し、看護師向けの教材を作成する。
2. 新人看護師教育カリキュラム	2010年4月1日～2018年8月迄	
3. 慢性腎臓病保存期外来看護 - 医療連携手順・基準	2006年9月1日～2018年8月迄	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 看護大学看護学部 非常勤講師	2019年9月1日2022年3月30日	非常勤講師として、成人看護学Ⅲの科目の中の担当した授業の中で、アクティブラーニング(ミニッツテストや学生同士複数人で意見を出し合い考えをまとめる学習方法)を実践した。 認定看護師として、スタッフ看護師に対して看護研究教育を行い、毎年1人、研究計画・研究実施・日本透析医学会と腎不全看護学会での学会発表を指導する。
2. 透析看護認定看護師	2006年7月1日2018年10月31日	
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 日本看護協会透析看護認定看護師	2006年7月1日	
2. 看護師免許	1996年	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 総論:透析患者に とってのキュアとケア	共	2021年2月	透析ケア27号2巻. メディカ出版	透析患者がその人らしく生きることを支えるキュアとケアについての総論についてまとめた
2. 腎不全患者に対する ACPの考え方と実践事例	単	2020年4月	呼吸循環脳実践ケア. 日経総研出版.41号3巻	腎不全患者のACPの考え方と各期(保存・導入・維持・終末)の看護支援について事例を用いて解説

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
3. 透析患者のよくある症状とケア	共	2016年6月	透析ケア2016夏樹増刊	透析室で気を付けたい症状「終始うつらうつらしている」「歩きづらそうにしている」「会話の調子がおかしい」の3症状に対して、病因、看護、予防の視点から解説
2 学位論文				
1. 高齢維持血液透析患者に関わる看護師の倫理的問題と対処の実態	単	2021年3月	武庫川女子大学	高齢維持血液透析患者に関わる看護師186名の倫理的問題と対処の実態を明らかにした。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 対象理解を深めるための看護理論を用いた臨床看護指導	単	2012年5月	第57回 日本透析医学学術集会・総会 ワークショップ 認定看護師の医療現場と将来	認定活動の振り返りと組織評価を踏まえた今後の展望について報告した。
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 高齢維持血液透析患者に関わる看護師の倫理的問題と対処の実態	単			

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2022年	第53回（2022年度）日本看護学会 抄録査読委員
2. 2021年	第52回（2021年度）日本看護学会 抄録査読委員